

# 株主各位

平成23年6月3日  
(証券コード 4367)

大阪市城東区放出西二丁目12番13号  
広栄化学工業株式会社  
代表取締役社長 大庭成弘

## 第150期 定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申しあげます。

このたびの東日本大震災により被害を受けられた地域の皆様には、心よりお見舞い申しあげますとともに、一日も早い復興をお祈り申しあげます。

さて、当社第150期定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご出席くださいますようご通知申しあげます。

なお、当日ご出席いただけない場合は、書面によって議決権行使することができますので、後記の参考書類をご検討のうえ、同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示いただき、平成23年6月23日（木曜日）午後5時までに到着するようご送付いただきたくお願ひ申しあげます。

敬 具

### 記

1. 日 時 平成23年6月24日（金曜日）午前10時
2. 場 所 大阪市城東区放出西二丁目12番13号  
本店事務棟 5階会議室

### 3. 会議の目的事項

- 報告事項 1. 第150期(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)事業報告、連結計算書類及び計算書類の内容報告の件  
2. 会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件

- 決議事項 第1号議案 取締役6名選任の件  
第2号議案 監査役2名選任の件

以 上

~~~~~  
当日ご出席の場合は、同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願ひ申しあげます。また、株主総会参考書類並びに事業報告、計算書類及び連結計算書類に修正すべき事情が生じた場合は、インターネット上の当社ウェブサイト (<http://www.koeichem.com/index-j.htm>) にて、修正の内容を開示いたします。

(添付書類)

## 事 業 報 告

（平成22年4月1日から）  
（平成23年3月31日まで）

### I. 企業集団の現況に関する事項

#### (1) 事業の経過及び成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、上半期は、中国をはじめアジア諸国への輸出の増加及び政府の経済対策の効果などにより緩やかな景気回復となりました。秋には、海外経済の停滞に加え円高の進行によって輸出が減速するなど足踏み状態となりましたが、第4四半期には企業収益の改善、設備投資や雇用情勢などに回復の兆しがみられました。しかし、3月11日に発生した東日本大震災の影響で経済活動は急速に落ち込みました。

このような情勢のもとで、当社グループは、拡販及び原料価格の上昇に対応した売価是正に注力し、新製品開発の一層の強化を推進するとともに安価原料や生産性向上によるコスト合理化に努め、全力で収益の確保に取り組んでまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は前期に比べ6億5千5百万円(3.2%)減収の199億5千万円となりました。損益面におきましては、急激な円高の進行、原料価格の上昇によって採算が悪化し、営業利益は5億3百万円(前期比2千5百万円減)となりましたが、営業外損益の改善があり経常利益は4億4千7百万円(前期比1億6百万円増)、当期純利益は2億8千6百万円(前期比6千万円増)となりました。

部門別の状況は、次のとおりであります。

#### (ファイン製品部門)

機能性化学品の売上高は、新製品の販売や電子材料関連の好調な需要に支えられ増加いたしました。

医農薬関連化学品の売上高は、販売数量及び価格の低迷により減少いたしました。

また、ピリジンなどの数量減少があり、その他ファイン製品の売上高も大幅に減少いたしました。

この結果、当部門の売上高は132億8千万円(前期比8.1%減)となりました。

#### (化成品部門)

多価アルコール類の販売等は、総じて自動車分野向け等の出荷が増加いたしました。この結果、当部門の売上高は66億6千9百万円(前期比8.5%増)となりました。

## (2) 設備投資及び資金調達の状況

当連結会計年度に実施いたしました当社グループの設備投資の総額は14億6千4百万円で、その主なものは千葉プラントのファイン製品製造設備の増強及び合理化などあります。

資金調達の状況は、借入金による資金調達を行い、当期末借入金残高は前期末に比べ5億1千8百万円増加し29億2千8百万円となりました。

## (3) 対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、上半期は東日本大震災に伴う生産設備の被災や部品などのサプライチェーンの寸断、電力供給の制約などが景気下押し圧力となることが予想されます。下半期には、生産機能の回復や復旧復興需要が見込まれるもの、為替や更なる原材料価格の上昇など業績圧迫要因が懸念され、厳しい事業環境が継続するものと予想されます。

このような状況におきまして、当社グループは、平成22年度からスタートさせました中期経営計画のもと、

- ①「研究開発/技術力」立脚型の中規模高収益企業
- ②含窒素化合物メーカーとしての基盤を活かし、新時代の要請に応える技術を提供する企業
- ③ステークホルダーとの充実した関係を維持する企業

の実現を目指し、社員一丸となり、安全安定操業を最優先とし、企業基盤の確立に取り組んでいるところであります。

また、環境問題や製品の安全性、品質の確保には引き続き万全を期し、顧客の期待に応えられる信頼性の高い企業グループを目指しております。

## (4)直前3事業年度の財産及び損益の状況(連結)

| 区分            | 第147期<br>(平成19年度) | 第148期<br>(平成20年度) | 第149期<br>(平成21年度) | 第150期<br>(平成22年度) |
|---------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 売上高（百万円）      | 25,022            | 23,584            | 20,605            | 19,950            |
| 経常利益（百万円）     | 1,905             | 1,133             | 341               | 447               |
| 当期純利益（百万円）    | 1,011             | 593               | 226               | 286               |
| 1株当たり当期純利益(円) | 41.31             | 24.23             | 9.25              | 11.71             |
| 総資産（百万円）      | 22,474            | 22,097            | 23,000            | 22,118            |
| 純資産（百万円）      | 12,370            | 12,546            | 12,690            | 12,703            |

## (5)重要な親会社及び子会社の状況

### ①親会社との関係

| 会 社 名    | 資 本 金     | 当社に対する<br>出資比率 | 事 業 上 の 関 係                                       |
|----------|-----------|----------------|---------------------------------------------------|
| 住友化学株式会社 | 89,699百万円 | 55.74%         | 1. 製品の一部を販売<br>2. 主原料、用役等の一部を購入<br>3. 工場用地(千葉)の賃借 |

### ②重要な子会社の状況

| 会 社 名        | 資 本 金 | 出資比率   | 主要な事業内容      |
|--------------|-------|--------|--------------|
| 広栄パーストープ株式会社 | 50百万円 | 60.00% | 多価アルコール製品の販売 |

## (6)主要な事業内容(平成23年3月31日現在)

下記化学品の製造及び販売

|           |                           |
|-----------|---------------------------|
| ファイン製品部門  | 医農薬関連化学品、機能性化学品、その他ファイン製品 |
| 化 成 品 部 門 | 多価アルコール類、その他化成品           |

## (7)主要な事業所(平成23年3月31日現在)

|              |       |       |
|--------------|-------|-------|
| 当 社          | 本 社   | 東京、大阪 |
|              | 工 場   | 千葉、大阪 |
|              | 研 究 所 | 千葉    |
| 広栄パーストープ株式会社 | 本 社   | 東京    |

## (8)従業員の状況(平成23年3月31日現在)

### ①当社グループの従業員数

| 従業員数  | 前期末比増減 |
|-------|--------|
| 335 名 | 9 名増   |

(注)出向者は含んでおりません。

### ②当社の従業員数

| 従業員数  | 前期末比増減 | 平均年令   | 平均勤続年数 |
|-------|--------|--------|--------|
| 326 名 | 10 名増  | 42.7 才 | 19.0 年 |

(注)出向者は含んでおりません。

## (9)主要な借入先及び借入額(平成23年3月31日現在)

| 借 入 先        | 借 入 額   |
|--------------|---------|
| 住化ファイナンス株式会社 | 950 百万円 |
| 株式会社三井住友銀行   | 881 百万円 |

## Ⅱ. 会社の状況に関する事項（平成23年3月31日現在）

### (1) 株式に関する事項

- ①発行可能株式総数 80,000,000株
- ②発行済株式の総数 24,500,000株
- ③株主数 1,328名
- ④大株主の状況

| 株 主 名             | 持 株 数    | 持 株 比 率 |
|-------------------|----------|---------|
| 住友化学株式会社          | 13,657千株 | 55.81%  |
| 塩野義製薬株式会社         | 1,671    | 6.83    |
| 武田薬品工業株式会社        | 1,457    | 5.95    |
| 田辺三菱製薬株式会社        | 910      | 3.72    |
| 広栄化学社員持株会         | 213      | 0.87    |
| 丸石化学品株式会社         | 168      | 0.69    |
| 住友商事株式会社          | 141      | 0.58    |
| アキ商会株式会社          | 136      | 0.56    |
| 住友精化株式会社          | 130      | 0.53    |
| 住友生命保険相互会社        | 100      | 0.41    |
| 三井住友海上火災保険株式会社    | 100      | 0.41    |
| ミヤコ化学株式会社         | 100      | 0.41    |
| 伊藤忠ケミカルフロンティア株式会社 | 100      | 0.41    |

(注) 持株比率は自己株式(28,382株)を控除して計算しております。

## (2)会社役員に関する事項

### ①取締役及び監査役に関する事項

| 地 位               | 氏 名   | 担当、重要な兼職の状況                                             |
|-------------------|-------|---------------------------------------------------------|
| 代表取締役社長<br>社長執行役員 | 大庭 成弘 |                                                         |
| 取締役専務執行役員         | 隅田 敏雄 | 研究開発本部長、研究開発本部開発室長                                      |
| 取締役常務執行役員         | 門田 厚老 | 工場長、生産技術センター統括                                          |
| 取締役執行役員           | 松村 俊樹 | 支配人、営業部担当                                               |
| 取締役執行役員           | 安川 育  | 企画室長、物流購買室・経理室・情報システム室・<br>内部監査室担当                      |
| 取 締 役             | 山本 一心 | 住友化学株式会社 執行役員<br>田岡化学工業株式会社 社外取締役                       |
| 常勤監査役             | 小寺 章一 |                                                         |
| 監 査 役             | 深江 秀雄 |                                                         |
| 監 査 役             | 渡辺 秀昭 |                                                         |
| 監 査 役             | 高田 文生 | 住友化学株式会社 技術・経営企画室部長<br>大倉工業株式会社 社外監査役<br>神東塗料株式会社 社外監査役 |
| 監 査 役             | 田中 誠一 | 弁護士<br>国立大学法人横浜国立大学大学院国際社会科学<br>研究科法曹実務専攻 客員教授          |

- (注) 1. 取締役のうち山本一心氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
2. 監査役のうち渡辺秀昭、高田文生及び田中誠一の各氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。
3. 田中誠一氏につきましては大阪証券取引所に対し、独立役員として届け出ております。
4. 取締役 山本一心並びに監査役 深江秀雄及び監査役 田中誠一の各氏は、平成22年6月24日開催の第149期定時株主総会において、新たに選任され、就任いたしました。
5. 常勤監査役 小寺章一氏は、当社の経理部門に長年従事するなど、財務及び会計について相当程度の知見を有するものであります。
6. 当期中に退任した取締役は、次のとおりであります。

|       |                      |
|-------|----------------------|
| 常務取締役 | 太田昭比古 (平成22年6月24日退任) |
| 取締役   | 土肥 憲治 (平成22年6月24日退任) |
| 取締役   | 森 常緑 (平成22年6月24日退任)  |
| 取締役   | 下田 尚志 (平成22年6月24日退任) |

②取締役及び監査役の報酬等の総額

| 区分  | 員数  | 報酬等の総額 |
|-----|-----|--------|
| 取締役 | 10名 | 139百万円 |
| 監査役 | 5名  | 34百万円  |
| 合計  | 15名 | 174百万円 |

- (注) 1. 上記金額のほか、平成20年6月25日開催の第147期定時株主総会決議に基づき、退職慰労金を退任取締役3名に対して23百万円支給しております。
2. 上記金額における社外役員の報酬部分につきましては、後記(3)④報酬等の総額に記載のとおりであります。
3. 報酬枠につきましては、取締役につきましては、平成19年6月26日開催の第146期定時株主総会におきまして報酬年額192百万円以内（うち社外取締役10百万円以内）と決議され、また監査役につきましては、平成22年6月24日開催の第149期定時株主総会におきまして報酬年額50百万円以内と決議されております。

(ご参考)

執行役員（取締役兼務者を除く）は、次のとおりであります。 (平成23年4月1日現在)

| 地位   | 氏名    | 担当                                  |
|------|-------|-------------------------------------|
| 執行役員 | 太田昭比古 | 広栄パーストープ株式会社代表取締役社長                 |
| 執行役員 | 石打 清隆 | 生産技術センター長、レスポンシブルケア室・品質保証室・ISO推進室担当 |
| 執行役員 | 西田まゆみ | 研究開発本部研究所長                          |

(3)社外役員に関する事項

①重要な兼職先との関係

| 区分  | 氏名   | 重要な兼職先である法人等                     | 重要な兼職の内容                     | 重要な兼職先である法人等と当社との関係        |
|-----|------|----------------------------------|------------------------------|----------------------------|
| 取締役 | 山本一心 | 住友化学株式会社<br>田岡化学工業株式会社           | 執行役員<br>社外取締役                | 親会社<br>親会社の子会社             |
| 監査役 | 高田文生 | 住友化学株式会社<br>大倉工業株式会社<br>神東塗料株式会社 | 技術・経営企画室部長<br>社外監査役<br>社外監査役 | 親会社<br>親会社の取引先<br>親会社の関連会社 |

②主な活動状況

| 区分  | 氏名    | 主な活動内容                                                                                                             |
|-----|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 取締役 | 山本 一心 | 取締役会には10回中8回出席し、経営戦略に関する知見に基づく観点などから、適宜発言を行っております。                                                                 |
| 監査役 | 渡辺 秀昭 | 取締役会には13回中13回、監査役会には13回中13回出席し、法令遵守、業務の適正性について、住友化学株式会社の取締役専務執行役員として経営に参画した経験による有する経営全般の知見に基づく観点などから、適宜発言を行っております。 |
| 監査役 | 高田 文生 | 取締役会には13回中10回、監査役会には13回中12回出席し、法令遵守、業務の適正性について、総務及び経営企画の知見に基づく観点などから、適宜発言を行っております。                                 |
| 監査役 | 田中 誠一 | 取締役会には10回中10回、監査役会には10回中10回出席し、法令遵守、業務の適正性について主に弁護士としての見地などから、適宜発言を行っております。                                        |

③責任限定契約の内容の概要

当社は、社外監査役 渡辺秀昭、高田文生及び田中誠一の各氏との間で、社外監査役が職務を行うにつき、善意でかつ重大な過失がない場合は、会社法第423条第1項に定める社外監査役の当社に対する損害賠償責任について、会社法第425条第1項各号に定める金額の合計額を限度とする、責任限定契約を締結しております。

④報酬等の総額

人数：5名 報酬等の額：8百万円

なお、親会社または親会社の子会社からの当該事業年度における役員としての報酬等の総額は、2百万円であります。

(4)会計監査人の状況

①名称 有限責任 あづさ監査法人

②当該事業年度に係る会計監査人の報酬等の額

|                                     |       |
|-------------------------------------|-------|
| 報酬等の額                               | 20百万円 |
| 当社及び子会社が会計監査人に支払うべき金銭その他の財産上の利益の合計額 | 20百万円 |

(注) 当社と会計監査人との間の監査契約においては、会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査の監査報酬等の額を区分しておらず、かつ、実質的にも区分ができないため、報酬等の額にはこれらの合計額を記載しております。

③会計監査人の解任または不再任の決定の方針

会社法第340条の監査役会決議によって会計監査人の解任を行うほか、当社の会計監査人が継続してその職責を全うするにあたっての重大な疑義を抱く事象が発生した場合、当社取締役会は、会社法第344条の規定に基づいて、監査役会の同意を得て解任または不再任に関する議案を株主総会に上程する方針であります。

### III. 会社の体制及び方針

#### (1) 業務の適正性を確保するための体制

当社取締役会において決議した業務の適正性を確保するための体制（内部統制システムに係る基本方針）は、以下のとおりであります。

##### ①当社役職員の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制について

当社においては2003年10月以来、「広栄化学企業行動憲章」及び「コンプライアンス規程」のもと、「コンプライアンス委員会」及び「広栄化学企業行動要領」を策定し、当社のコンプライアンスに関する考え方の基本、全社各部門における法令違反の予防措置並びに法令違反発生時の対処方法及び是正方法などについて定めております。また、社内全社員を対象にした社内研修会などで周知することで役職員への徹底を図るとともに、内部監査を継続的に実施して当社職務の執行が適法になされているかどうかを検証しております。また上場会社として、会社における決定事実、発生事実などを適時適切に開示するいわゆる「適時開示」についても、法令及び取引所の定める「適時開示規則」などに基づいた適切な対応を行っております。さらに、「金融商品取引法」及び「同施行令」などに規定される決算財務報告の適正性を確保する観点から、「J-SOX委員会」を設け、当社及び当社グループにおける財務報告にかかる内部統制報告制度の構築及び適切な運営を図るべく対応しております。

当社は、「内部統制システムに係る基本方針」に則り、取締役会における「内部統制システム」の構築運用に努めるとともに、その充実を不斷に図るため、「内部統制システム」に関する諸施策を審議する「内部統制委員会」を設置しました。引き続きコンプライアンス体制を当社役職員全員で堅持し、必要に応じて適時適切に見直しを行い、実効性のあるコンプライアンス体制を確保してまいります。

##### ②取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制について

取締役の職務の執行に関する情報は、取締役会議事録、稟議書、伺書などに記載又は記録されるものですが、これらの情報について、以下のとおり体制を整備しております。

情報の保存及び管理については、「情報管理規程」などの社内規程において、業務に使用する各種紙面、電子的情報の取扱、情報の保存年限、廃棄の方法などを定め、これらを全役職員に周知し情報の保全に努めております。さらに業務上重要な情報などの漏洩を防止する観点から、退職者に対して秘密保持誓約書を提出させております。

また、情報システムの利用については、「情報システムセキュリティ規程」を定め、情報システムの利用権者を明らかにするとともに、不正アクセスへの防止対策を講じております。さらに、インサイダー情報の取扱については、その重要性を考慮して「内部者取引管理規程」を定め、万全を期しております。

これらの体制については、定期的に内部監査を行っており、今後も必要に応じて適時適切に見直しを図ってまいります。

### ③損失の危険の管理に関する規程その他の体制について

当社における損失の危険（以下「リスク」という）への対策としては、個別の規程を設けるほか、各種経営判断においてあらゆる角度から綿密に検討を重ねるとともに、取締役会、役員連絡会などの議論を経営判断の一助とするなど、「リスク」を極小化する努力を常日頃から行っています。

具体的には、「リスク管理規程」及びこれに基づき設置されている「リスク管理委員会」において、生産や物流に関する「リスク」など当社の経営全般におよぶ「リスク」を定期的に洗い出し、把握、予防し、万一「リスク」が顕在化した場合に備え、緊急時などの各種対策に関する規程規則類を整備しております。さらに今後も必要に応じて適時適切に見直しを図ってまいります。

### ④取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制について

当社では、職務執行の効率性を追求するために、「事務章程」によって社内分掌及び業務権限を明確にしております。また、「決裁基準規程」においては、業務の効率化を図る目的による事前の調整、連絡の徹底と稟議職制の限定、電磁的方法による稟議の許容について規定をおいております。この他、職務執行の判断に不可欠な各種業務情報については電磁的方法（データベースなど）による共有化を行っており、部門横断的な協力の推進、連携にも活用しております。

### ⑤当社グループ及び住友化学株式会社（以下、「住友化学」という）グループの一員として業務の適正を確保するための体制について

当社を中心とする広栄化学グループでは、コンプライアンス体制を関係会社を含めて実施するとともに、「関係会社運営規程」の制定や役員などの派遣を通じ関係会社業務運営の強化、適正化を図っております。

さらに当社は、親会社である住友化学との関係において、住友化学の戦略と連関しつつ、内容に応じた適切な手続きにより、他の株主などにも配慮した経営を行っております。

### ⑥監査役が職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合の当該使用人に関する（その独立性を含む）体制について

当社では、監査役の指揮を受け、その職務を補佐する任にあたる「監査役付属」という職制があります。また、内部監査職としては「内部監査室」がこれにあたっております。なお、両職務内容が類似していることもあり、これらの職制を兼務する場合もあります。現状では上記各種体制の実行とあいまって、内部監査と監査役の業務補助双方とも支障なく実施しております。

なお、監査役がその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合は、監査役の指

揮を受け、その職務を補佐する使用人について、取締役からの独立性を確保するために、「監査役付属」の人事については監査役と協議するものとしております。

#### ⑦取締役及び使用人の監査役会、監査役への報告に関する体制及び監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制について

各監査役は、取締役会、役員連絡会など当社の重要会議に出席し、業務執行内容などの報告を受け、監査を行っております。さらに、監査役、監査役会における当社業務の監査の実効をあげるため、取締役及び使用人に対して定期的にその業務の内容について報告を求め、調査を行っております。監査対象は当社各部門の全般に及び、社内データベースへもフルアクセスを行うなど、円滑な監査のための体制をとっております。また常日頃から、各監査役と会計監査人とは監査業務に関する連携を密にしており、決算時には、会計監査人から会計内容に関する報告を聴取しております。

なお、当社のコンプライアンス体制の維持、強化のために、当社役職員などによるコンプライアンス違反またはその恐れがある場合に、その旨の通報を受ける「スピーカアップ制度」を導入しておりますが、監査役の業務監査との関係に鑑み、「スピーカアップ制度」に基づく通報を受けた場合には、常勤監査役への報告もあわせて行うなど、通報内容の確実な伝達を図る体制をとっております。

#### 【反社会的勢力との関係遮断に関する取り組みについて】

当社では、広栄化学企業行動要領（コンプライアンスマニュアル）において、社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力や団体に対しては毅然とした対応を行い、一切の関係を持たず、また取引などを行ってはならない旨規定しております。さらに万一、反社会的勢力から接触があった場合には総務人事室を窓口とし、警察や外部の法律専門家とも協力して対応を行うこととしております。

#### (2) 会社の財務および事業の方針の決定を支配するものあり方に関する基本方針

該当事項はありません。

#### (3) 剰余金の配当等の決定に関する方針

当社では、株主の皆様の長期的かつ安定的な利益の確保と、当社の各事業年度における業績の状況および将来的な事業展開に備えるための株主資本の充実などとのバランスを総合的に勘案し、剰余金の配当等を決定することを基本方針にしております。

なお、今期につきましては、平成23年5月11日開催の取締役会におきまして、剰余金配当として1株あたり9円を配当する旨決議しております。

- 
- (注) 1. 本事業報告に記載しております数字は、金額については表示単位未満の端数を切り捨て、その他は四捨五入により表示しております。  
2. 本事業報告において、「当社グループ」とは、会社法施行規則で用いられている「企業集団」を意味するものであります。

# 連 結 貸 借 対 照 表

(平成23年3月31日現在)

(単位:千円)

| 科 目             | 金 額               | 科 目             | 金 額               |
|-----------------|-------------------|-----------------|-------------------|
| <b>(資産の部)</b>   |                   | <b>(負債の部)</b>   |                   |
| <b>流動資産</b>     | <b>9,588,396</b>  | <b>流動負債</b>     | <b>7,088,887</b>  |
| 現金及び預金          | 296,751           | 支払手形及び買掛金       | 3,479,185         |
| 売掛金             | 5,298,619         | 短期借入金           | 2,591,200         |
| 商品及び製品          | 2,454,741         | 未 払 金           | 782,240           |
| 仕掛品             | 610,818           | 未 払 法 人 税 等     | 73,666            |
| 原材料及び貯蔵品        | 804,242           | 賞 与 引 当 金       | 112,000           |
| 繰延税金資産          | 100,625           | そ の 他           | 50,595            |
| そ の 他           | 47,987            |                 |                   |
| 貸倒引当金           | △ 25,389          | <b>固 定 負 債</b>  | <b>2,326,157</b>  |
|                 |                   | 長 期 借 入 金       | 337,600           |
| <b>固定資産</b>     | <b>12,530,491</b> | 退職給付引当金         | 1,525,398         |
| <b>有形固定資産</b>   | <b>10,545,733</b> | 長 期 預 り 金       | 296,032           |
| 建物及び構築物         | 4,669,095         | そ の 他           | 167,126           |
| 機械装置及び運搬具       | 5,349,137         | <b>負債合計</b>     | <b>9,415,044</b>  |
| 土 地             | 100,613           | <b>(純資産の部)</b>  |                   |
| 建設仮勘定           | 23,014            | <b>株主資本</b>     | <b>12,058,804</b> |
| そ の 他           | 403,870           | 資 本 金           | 2,343,000         |
| <b>無形固定資産</b>   | <b>43,557</b>     | 資本剰余金           | 1,551,049         |
| ソフトウェア等         | 43,557            | 利 益 剰 余 金       | 8,173,761         |
| <b>投資その他の資産</b> | <b>1,941,201</b>  | 自 己 株 式         | △ 9,006           |
| 投資有価証券          | 1,278,039         | その他の包括利益累計額     | <b>613,354</b>    |
| 繰延税金資産          | 512,090           | その他有価証券評価差額金    | 613,354           |
| そ の 他           | 159,185           | 少 数 株 主 持 分     | <b>31,684</b>     |
| 貸倒引当金           | △ 8,114           |                 |                   |
|                 |                   | <b>純資産合計</b>    | <b>12,703,843</b> |
| <b>資産合計</b>     | <b>22,118,888</b> | <b>負債・純資産合計</b> | <b>22,118,888</b> |

## 連 結 損 益 計 算 書

(平成22年4月1日から)  
(平成23年3月31日まで)

(単位:千円)

| 科 目            | 金 額     |            |
|----------------|---------|------------|
| 売 上 高          |         | 19,950,301 |
| 売 上 原 価        |         | 16,213,559 |
| 売 上 総 利 益      |         | 3,736,741  |
| 販売費および一般管理費    |         | 3,233,347  |
| 營 業 利 益        |         | 503,393    |
| 營 業 外 収 益      |         |            |
| 受取利息および配当金     | 69,958  |            |
| その他の収益         | 39,811  | 109,770    |
| 營 業 外 費 用      |         |            |
| 支 払 利 息        | 28,653  |            |
| その他の費用         | 136,803 | 165,457    |
| 経 常 利 益        |         | 447,707    |
| 税金等調整前当期純利益    |         | 447,707    |
| 法人税、住民税および事業税  | 51,500  |            |
| 法 人 税 等 調 整 額  | 109,379 | 160,879    |
| 少數株主損益調整前当期純利益 |         | 286,827    |
| 少 数 株 主 利 益    |         | 194        |
| 当 期 純 利 益      |         | 286,633    |

## 連結株主資本等変動計算書

(平成22年4月1日から)  
(平成23年3月31日まで)

(単位：千円)

|                         | 株 主 資 本   |           |           |        |            |
|-------------------------|-----------|-----------|-----------|--------|------------|
|                         | 資本金       | 資本剰余金     | 利益剰余金     | 自己株式   | 株主資本合計     |
| 前期末残高                   | 2,343,000 | 1,551,049 | 8,107,394 | △8,441 | 11,993,002 |
| 当期変動額                   |           |           |           |        |            |
| 剰余金の配当                  |           |           | △220,266  |        | △220,266   |
| 当期純利益                   |           |           | 286,633   |        | 286,633    |
| 自己株式の取得                 |           |           |           | △565   | △565       |
| 株主資本以外の項目の当期<br>変動額(純額) |           |           |           |        |            |
| 当期変動額合計                 | —         | —         | 66,367    | △565   | 65,801     |
| 当期末残高                   | 2,343,000 | 1,551,049 | 8,173,761 | △9,006 | 12,058,804 |

(単位：千円)

|                         | その他の包括利益累計額      |                   | 少數株主持分 | 純資産合計      |
|-------------------------|------------------|-------------------|--------|------------|
|                         | その他有価証券<br>評価差額金 | その他の包括利益<br>累計額合計 |        |            |
| 前期末残高                   | 666,259          | 666,259           | 31,490 | 12,690,752 |
| 当期変動額                   |                  |                   |        |            |
| 剰余金の配当                  |                  |                   |        | △220,266   |
| 当期純利益                   |                  |                   |        | 286,633    |
| 自己株式の取得                 |                  |                   |        | △565       |
| 株主資本以外の項目の当期<br>変動額(純額) | △52,905          | △52,905           | 194    | △52,710    |
| 当期変動額合計                 | △52,905          | △52,905           | 194    | 13,091     |
| 当期末残高                   | 613,354          | 613,354           | 31,684 | 12,703,843 |

## 連結注記表

(連結計算書類作成のための基本となる重要な事項に関する注記)

### 1. 連結の範囲に関する事項

#### (1) 連結子会社の数 1社

連結子会社の名称 広栄パーストープ株式会社

#### (2) 非連結子会社の数 1社

非連結子会社の名称 広栄テクノ株式会社

(連結の範囲から除いた理由)

同社は小規模会社であり、総資産、売上高、当期純損益及び利益剰余金（持分に見合う額）等は、いずれも連結計算書類に重要な影響を及ぼしていないため、連結の範囲から除いております。

### 2. 持分法の適用に関する事項

該当事項はありません。

### 3. 会計処理基準に関する事項

#### (1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

##### ①有価証券

満期保有目的の債券 : 債却原価法

その他有価証券

市場価格のあるもの : 期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）

市場価格のないもの : 移動平均法による原価法

##### ②デリバティブ

: 時価法

##### ③たな卸資産

: 総平均法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）

#### (2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

##### ①有形固定資産

・リース資産以外の有形 : 定額法

固定資産 平成19年3月31日以前に取得した有形固定資産については、償却可能限度額まで償却が終了した翌年から5年間で均等償却する方法によっております。

- ・リース資産 : 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係る資産  
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。  
なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引日が平成20年3月31日以前のリース取引については、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

## ②無形固定資産

- ・リース資産以外の無形：定額法  
固定資産 ただし、ソフトウェア(自社利用分)については、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。
- ・リース資産 : 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係る資産  
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

## (3) 重要な引当金の計上基準

- ①貸倒引当金 売掛金、貸付金、その他これらに準ずる債権の貸倒れによる損失に備えるため設定しており、一般債権については合理的に見積もった貸倒率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討して計上しております。
- ②賞与引当金 従業員に対して支給する賞与に充当するために設定しており、その計算の基礎は当連結会計年度に負担すべき支給見込額を計上しております。
- ③退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当連結会計年度末における退職給付債務の見込額に基づき、当連結会計年度末に発生していると認められる額を計上しております。過去勤務債務については、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(5年)による按分額を費用処理しております。数理計算上の差異については、各連結会計年度の発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(5年)による按分額をそれぞれ発生の翌連結会計年度より費用処理しております。

#### (4) 重要なヘッジ会計の方法

##### ①ヘッジ会計の方法

繰延ヘッジ処理によっております。また為替予約が付されている外貨建金銭債権債務等については、振当処理を行っております。

##### ②ヘッジ手段とヘッジ対象

| ヘッジ手段  | ヘッジ対象 |
|--------|-------|
| 為替予約取引 | 外貨建債権 |

##### ③ヘッジ方針

管理基準に従い、為替変動リスクをヘッジしております。

##### ④ヘッジの有効性評価の方法

ヘッジ手段とヘッジ対象が対応していることを確認することにより、有効性を評価しております。

#### (5) その他連結計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の処理の方法： 税抜方式によっております。

### 4. 連結計算書類の作成のための基本となる重要な事項の変更

(会計方針の変更)

資産除去債務に関する会計基準

当連結会計年度より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号平成20年3月31日)を適用しておりますが、これに伴う重要な影響はありません。

(表示方法の変更)

連結損益計算書関係

当連結会計年度より、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成20年12月26日)に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日内閣府令第5号)を適用し、「少数株主損益調整前当期純利益」の科目を表示しております。

(連結貸借対照表に関する注記)

有形固定資産の減価償却累計額 25,388,415千円

(連結株主資本等変動計算書に関する注記)

1. 当連結会計年度末の発行済株式の種類及び総数

|      |             |
|------|-------------|
| 普通株式 | 24,500,000株 |
|------|-------------|

## 2. 当連結会計年度中に行った剩余金の配当に関する事項

| 決議                 | 株式の種類 | 配当金の総額<br>(千円) | 1株当たり<br>配当額(円) | 基準日            | 効力発生日         |
|--------------------|-------|----------------|-----------------|----------------|---------------|
| 平成22年5月10日<br>取締役会 | 普通株式  | 220,266        | 9.0             | 平成22年<br>3月31日 | 平成22年<br>6月7日 |

## 3. 当連結会計年度の末日後に行う剩余金の配当に関する事項

| 決議                 | 株式の種類 | 配当の原資 | 配当金の総額<br>(千円) | 1株当たり<br>配当額(円) | 基準日            | 効力発生日         |
|--------------------|-------|-------|----------------|-----------------|----------------|---------------|
| 平成23年5月11日<br>取締役会 | 普通株式  | 利益剰余金 | 220,244        | 9.0             | 平成23年<br>3月31日 | 平成23年<br>6月6日 |

### (金融商品に関する注記)

#### 1. 金融商品の状況に関する事項

当社グループは、事業遂行のために必要な長期資金及び短期資金を銀行等金融機関からの借入により調達しております。一時的な余資については、利回りが確定しており、かつ元本割れの可能性が極めて少ない金融商品に限定して運用することとしております。

売掛金に係る顧客の信用リスクは、販売管理について定めた社内規程に従い、営業担当部が定期的に全営業取引先の状況、販売取引高及び債権残高を確認して取引方針の見直しを実施するとともに、財務状況等による取引先の信用リスクの早期把握や軽減を図っております。また、輸出取引等により発生する外貨建ての営業債権は、為替の変動リスクに晒されていますが、原則として外貨建ての営業債務をネットしたポジションについて、為替予約について定めた社内規程に基づき一定範囲内で先物為替予約を利用することでヘッジしております。

投資有価証券は主として株式であり、市場価格の変動リスクに晒されていますが、主に業務上の関係を有する企業の株式であります。上場株式については四半期ごとに時価の把握を行っております。

借入金のうち短期借入金は、主に短期的な運転資金の調達を目的としたものであり、長期借入金は、主に設備投資資金の調達を目的としたものであります。

なお、先物為替予約取引は為替変動リスクのヘッジ目的でのみ利用し、その限度額は実需の範囲内とすることとしております。先物為替予約取引の執行・管理については、取引権限や手続きを定めた社内規程を定めており、この規程の遵守及び取引のヘッジ効果の確認等によりリスク管理を行っております。また、先物為替予約取引の利用にあたっては、信用リスクを軽減するために、信用度の高い国内銀行とのみ取引を行っております。

## 2. 金融商品の時価等に関する事項

平成23年3月31日における連結貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは含めておりません((注2)参照)。

(単位：千円)

|               | 連結貸借対照表<br>計上額(*) | 時 価(*)      | 差 額    |
|---------------|-------------------|-------------|--------|
| (1) 現金及び預金    | 296,751           | 296,751     | -      |
| (2) 売掛金       | 5,298,619         | 5,298,619   | -      |
| (3) 投資有価証券    |                   |             |        |
| その他有価証券       | 1,227,768         | 1,227,768   | -      |
| 満期保有目的債券      | 4,611             | 4,557       | △33    |
| (4) 支払手形及び買掛金 | (3,479,185)       | (3,479,185) | -      |
| (5) 短期借入金     | (2,460,000)       | (2,460,000) | -      |
| (6) 長期借入金     | (468,800)         | (472,629)   | △3,829 |
| (7) デリバティブ取引  | -                 | -           | -      |

(\*)負債に計上されているものについては、( )で示しております。

### (注1) 金融商品の時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項

#### (1) 現金及び預金、並びに(2)売掛金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にはほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

#### (3) 投資有価証券

これらの時価について、株式は取引所の価格に、満期保有目的債券は将来キャッシュ・フローを満期までの期間及び信用リスクを加味した利率により割り引いた現在価値によっております。

#### (4) 支払手形及び買掛金、並びに(5)短期借入金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にはほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

#### (6) 長期借入金

長期借入金の時価については、元利金の合計額を同様の新規借入を行った場合に想定される利率で割り引いて算定する方法によっております。

#### (7) デリバティブ取引

為替予約等の振当処理によるものは、ヘッジ対象とされている売掛金と一体として処理されているため、その時価は、当該売掛金の時価に含めて記載しております。

(注2) 非上場株式（連結貸借対照表計上額45,660千円）は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積もることができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(3) 投資有価証券 その他有価証券」には含めておりません。

また、長期預り金（連結貸借対照表計上額296,032千円）は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積もることができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため「2. 金融商品の時価等に関する事項」から除外しております。

#### (賃貸等不動産に関する注記)

賃貸等不動産の総額が僅少であるため、注記を省略しております。

#### (1 株当たり情報に関する注記)

1 株当たり純資産額 517円83銭

1 株当たり当期純利益 11円71銭

## 連結計算書類に係る会計監査人の監査報告書 謄本

### 独立監査人の監査報告書

広栄化学工業株式会社  
取締役会御中

平成23年5月6日

有限責任あづさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 文倉辰永印  
業務執行社員  
指定有限責任社員 公認会計士 小野友之印  
業務執行社員

当監査法人は、会社法第444条第4項の規定に基づき、広栄化学工業株式会社の平成22年4月1日から平成23年3月31日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表について監査を行った。この連結計算書類の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から連結計算書類に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に連結計算書類に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての連結計算書類の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の連結計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、広栄化学工業株式会社及び連結子会社から成る企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

# 貸 借 対 照 表

(平成23年3月31日現在)

(単位：千円)

| 科 目             | 金 額               | 科 目             | 金 額               |
|-----------------|-------------------|-----------------|-------------------|
| <b>(資産の部)</b>   |                   | <b>(負債の部)</b>   |                   |
| <b>流動資産</b>     | <b>8,852,261</b>  | <b>流動負債</b>     | <b>6,417,907</b>  |
| 現金及び預金          | 199,612           | 支 払 手 形         | 129,199           |
| 売掛金             | 4,692,730         | 買掛金             | 2,713,020         |
| 商品及び製品          | 1,474,849         | 短期借入金           | 2,591,200         |
| 仕掛品             | 610,818           | 未 払 金           | 752,506           |
| 原材料及び貯蔵品        | 804,242           | 未 払 法 人 税 等     | 72,167            |
| 繰延税金資産          | 93,214            | 預り金             | 37,256            |
| 短期貸付金           | 960,000           | 賞与引当金           | 112,000           |
| 未収入金            | 17,860            | そ の 他           | 10,555            |
| その他の            | 24,934            |                 |                   |
| 貸倒引当金           | △ 26,000          | <b>固定負債</b>     | <b>2,315,510</b>  |
|                 |                   | 長期借入金           | 337,600           |
| <b>固定資産</b>     | <b>12,540,894</b> | 退職給付引当金         | 1,525,398         |
| <b>有形固定資産</b>   | <b>10,541,176</b> | 長期預り金           | 285,385           |
| 建物              | 3,887,330         | そ の 他           | 167,126           |
| 構築物             | 779,245           |                 |                   |
| 機械装置            | 5,335,517         | <b>負債合計</b>     | <b>8,733,417</b>  |
| 車両運搬具           | 13,620            | <b>(純資産の部)</b>  |                   |
| 工具器具備品          | 402,332           | <b>株主資本</b>     | <b>12,046,385</b> |
| 土地              | 100,613           | 資本金             | 2,343,000         |
| 建設仮勘定           | 22,516            | 資本剰余金           | 1,551,049         |
| <b>無形固定資産</b>   | <b>37,726</b>     | 資本準備金           | 1,551,049         |
| ソフトウェア等         | 37,726            | 利益剰余金           | 8,161,342         |
| <b>投資その他の資産</b> | <b>1,961,992</b>  | 利益準備金           | 341,210           |
| 投資有価証券          | 1,244,475         | その他利益剰余金        | 7,820,132         |
| 関係会社株式          | 63,564            | 固定資産圧縮積立金       | 356               |
| 長期貸付金           | 614               | 別途積立金           | 6,902,000         |
| 繰延税金資産          | 512,090           | 繰越利益剰余金         | 917,775           |
| その他の            | 149,362           | <b>自己株式</b>     | <b>△ 9,006</b>    |
| 貸倒引当金           | △ 8,114           | 評価・換算差額等        | 613,354           |
|                 |                   | その他有価証券評価差額金    | 613,354           |
| <b>資産合計</b>     | <b>21,393,156</b> | <b>純資産合計</b>    | <b>12,659,739</b> |
|                 |                   | <b>負債・純資産合計</b> | <b>21,393,156</b> |

## 損 益 計 算 書

(平成22年4月1日から)  
(平成23年3月31日まで)

(単位:千円)

| 科 目           | 金 額     |            |
|---------------|---------|------------|
| 売 上 高         |         | 17,501,550 |
| 売 上 原 価       |         | 14,280,233 |
| 売 上 総 利 益     |         | 3,221,317  |
| 販売費及び一般管理費    |         | 2,742,210  |
| 營 業 利 益       |         | 479,106    |
| 營 業 外 収 益     |         |            |
| 受取利息および配当金    | 75,190  |            |
| その他の収益        | 39,079  | 114,269    |
| 營 業 外 費 用     |         |            |
| 支 払 利 息       | 28,211  |            |
| その他の費用        | 133,967 | 162,179    |
| 經 常 利 益       |         | 431,196    |
| 税引前当期純利益      |         | 431,196    |
| 法人税、住民税及び事業税  | 50,000  |            |
| 法 人 税 等 調 整 額 | 104,220 | 154,220    |
| 当 期 純 利 益     |         | 276,976    |

## 株主資本等変動計算書

(平成22年4月1日から)  
(平成23年3月31日まで)

(単位：千円)

|                         | 株主資本      |           |         |          |         |
|-------------------------|-----------|-----------|---------|----------|---------|
|                         | 資本金       | 資本剰余金     | 利益剰余金   |          |         |
|                         |           | 資本準備金     | 利益準備金   | その他利益剰余金 |         |
| 前期末残高                   | 2,343,000 | 1,551,049 | 341,210 | 712      | 6,968   |
| 当期変動額                   |           |           |         |          |         |
| 剰余金の配当                  |           |           |         |          |         |
| 固定資産圧縮積立金の取崩し           |           |           |         | △ 356    |         |
| 特別償却積立金の取崩し             |           |           |         |          | △ 6,968 |
| 当期純利益                   |           |           |         |          |         |
| 自己株式の取得                 |           |           |         |          |         |
| 株主資本以外の項目の当期<br>変動額(純額) |           |           |         |          |         |
| 当期変動額合計                 | —         | —         | —       | △ 356    | △ 6,968 |
| 当期末残高                   | 2,343,000 | 1,551,049 | 341,210 | 356      | —       |

(単位：千円)

|                         | 株主資本      |           |                  |         |                |
|-------------------------|-----------|-----------|------------------|---------|----------------|
|                         | 利 益 剰 余 金 |           | 利 益 剰 余 金<br>合 計 | 自 己 株 式 | 株 主<br>資 本 合 計 |
|                         | その他の利益剰余金 | 別途積立金     |                  |         |                |
| 前期末残高                   | 6,902,000 | 853,741   | 8,104,632        | △ 8,441 | 11,990,240     |
| 当期変動額                   |           |           |                  |         |                |
| 剰余金の配当                  |           | △ 220,266 | △ 220,266        |         | △ 220,266      |
| 固定資産圧縮積立金の取崩し           |           | 356       |                  |         | —              |
| 特別償却積立金の取崩し             |           | 6,968     |                  |         | —              |
| 当期純利益                   |           | 276,976   | 276,976          |         | 276,976        |
| 自己株式の取得                 |           |           |                  | △ 565   | △ 565          |
| 株主資本以外の項目の当期<br>変動額(純額) |           |           |                  |         |                |
| 当期変動額合計                 | —         | 64,034    | 56,709           | △ 565   | 56,144         |
| 当期末残高                   | 6,902,000 | 917,775   | 8,161,342        | △ 9,006 | 12,046,385     |

## 株主資本等変動計算書

(平成22年4月1日から)  
(平成23年3月31日まで)

(単位：千円)

|                         | 評価・換算差額等         |                 | 純資産合計      |
|-------------------------|------------------|-----------------|------------|
|                         | その他有価証券<br>評価差額金 | 評価・換算<br>差額等 合計 |            |
| 前期末残高                   | 666,259          | 666,259         | 12,656,499 |
| 当期変動額                   |                  |                 |            |
| 剰余金の配当                  |                  |                 | △ 220,266  |
| 固定資産圧縮積立金の取崩し           |                  |                 | —          |
| 特別償却積立金の取崩し             |                  |                 | —          |
| 当期純利益                   |                  |                 | 276,976    |
| 自己株式の取得                 |                  |                 | △ 565      |
| 株主資本以外の項目の当期<br>変動額(純額) | △ 52,905         | △ 52,905        | △ 52,905   |
| 当期変動額合計                 | △ 52,905         | △ 52,905        | 3,239      |
| 当期末残高                   | 613,354          | 613,354         | 12,659,739 |

## 個別注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

### 1. 資産の評価基準及び評価方法

#### (1) 有価証券

|               |                                                         |
|---------------|---------------------------------------------------------|
| 満期保有目的の債券     | : 債却原価法                                                 |
| 子会社株式及び関連会社株式 | : 移動平均法による原価法                                           |
| その他有価証券       |                                                         |
| 市場価格のあるもの     | : 期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定） |
| 市場価格のないもの     | : 移動平均法による原価法                                           |
| (2) デリバティブ    | : 時価法                                                   |
| (3) たな卸資産     | : 総平均法による原価法（収益性の低下による薄価切下げの方法）                         |

### 2. 固定資産の減価償却の方法

#### (1) 有形固定資産

|                     |                                                                                                                                                        |
|---------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ・リース資産以外の<br>有形固定資産 | : 定額法<br><br>平成19年3月31日以前に取得した有形固定資産については、償却可能限度額まで償却が終了した翌年から5年間で均等償却する方法によっております。                                                                    |
| ・リース資産              | : 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係る資産<br><br>リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引日が平成20年3月31日以前のリース取引については、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。 |

#### (2) 無形固定資産

|                     |                                                                      |
|---------------------|----------------------------------------------------------------------|
| ・リース資産以外の<br>無形固定資産 | : 定額法<br><br>ただし、ソフトウェア（自社利用分）については、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。 |
| ・リース資産              | : 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係る資産<br><br>リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。  |

### 3.引当金の計上基準

#### (1)貸倒引当金

売掛金、貸付金、その他これらに準ずる債権の貸倒れによる損失に備えるため設定しており、一般債権については合理的に見積もった貸倒率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討して計上しております。

#### (2)賞与引当金

従業員に対して支給する賞与に充当するために設定しており、その計算の基礎は当事業年度に負担すべき支給見込額を計上しております。

#### (3)退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき、当事業年度末に発生していると認められる額を計上しております。過去勤務債務については、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（5年）による按分額を費用処理しております。数理計算上の差異については、各事業年度の発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（5年）による按分額をそれぞれ発生の翌事業年度より費用処理しております。

### 4.ヘッジ会計の方法

#### (1)ヘッジ会計の方法

繰延ヘッジ処理によっております。また為替予約が付されている外貨建金銭債権債務等については、振当処理を行なっております。

#### (2)ヘッジ手段とヘッジ対象

| ヘッジ手段  | ヘッジ対象 |
|--------|-------|
| 為替予約取引 | 外貨建債権 |

#### (3)ヘッジ方針

管理基準に従い、為替変動リスクをヘッジしております。

#### (4)ヘッジの有効性評価の方法

ヘッジ手段とヘッジ対象が対応していることを確認することにより、有効性を評価しております。

### 5.その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の処理の方法：税抜方式によっております。

### 6.重要な会計方針の変更

#### (会計方針の変更)

##### 資産除去債務に関する会計基準

当事業年度より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号平成20年3月31日）を適用しておりますが、これに伴う重要な影響はありません。

(貸借対照表に関する注記)

|                       |              |
|-----------------------|--------------|
| 1. 有形固定資産の減価償却累計額     | 25,385,882千円 |
| 2. 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務 |              |
| 短期金銭債権                | 1,977,520千円  |
| 長期金銭債権                | 47,170千円     |
| 短期金銭債務                | 1,497,058千円  |

(損益計算書に関する注記)

関係会社との取引高

|            |             |
|------------|-------------|
| 売上高        | 4,206,993千円 |
| 仕入高        | 4,752,905千円 |
| 営業取引以外の取引高 | 42,223千円    |

(株主資本等変動計算書に関する注記)

|                        |         |
|------------------------|---------|
| 当事業年度末における自己株式の種類及び株式数 |         |
| 普通株式                   | 28,382株 |

(税効果会計関係に関する注記)

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

<繰延税金資産>

(1) 流動資産

|            |                 |
|------------|-----------------|
| 賞与引当金繰入超過額 | 45,472千円        |
| その他        | 47,742千円        |
| 計          | <u>93,214千円</u> |

(2) 固定資産

|              |                  |
|--------------|------------------|
| 退職給付引当金繰入超過額 | 619,312千円        |
| 減損損失等        | 192,241千円        |
| その他          | <u>136,250千円</u> |
| 小計           | <u>947,803千円</u> |
| 評価性引当額       | <u>△16,240千円</u> |
| 計            | <u>931,563千円</u> |

繰延税金資産 合計 1,024,777千円

<繰延税金負債>

(1) 固定負債

|              |              |
|--------------|--------------|
| その他有価証券評価差額金 | 419,228千円    |
| その他          | <u>244千円</u> |
| 繰延税金負債 合計    | 419,472千円    |
| 繰延税金資産の純額    | 605,304千円    |

(リースにより使用する固定資産に関する注記)

|                                 |         |
|---------------------------------|---------|
| (1)当事業年度の末日におけるリース物件の取得原価相当額    | 7,162千円 |
| (2)当事業年度の末日におけるリース物件の減価償却累計額相当額 | 6,776千円 |
| (3)当事業年度の末日におけるリース物件の未経過リース料相当額 | 386千円   |

(関連当事者との取引に関する注記)

1. 親会社及び法人主要株主等 (単位：千円)

| 属性      | 会社等の名称    | 議決権等の被所有割合            | 関連当事者との関係                  |
|---------|-----------|-----------------------|----------------------------|
| 親会社     | 住友化学株式会社  | 直接 55.91%<br>間接 0.45% | 当社製品の販売、原材料等の購入<br>工場用地の賃借 |
| 取引の内容   | 取引金額      | 科目                    | 期末残高                       |
| 原材料等の購入 | 3,570,952 | 買掛金                   | 1,374,946                  |

2. 子会社及び関連会社等 (単位：千円)

| 属性               | 会社等の名称               | 議決権等の所有割合    | 関連当事者との関係          |
|------------------|----------------------|--------------|--------------------|
| 子会社              | 広栄パーストープ<br>株式会社     | 直接 60.00%    | 当社製品の販売、<br>資金の貸付  |
| 取引の内容            | 取引金額                 | 科目           | 期末残高               |
| 当社製品の販売<br>資金の貸付 | 3,434,470<br>310,000 | 売掛金<br>短期貸付金 | 672,855<br>960,000 |

## 3. 兄弟会社等

(単位：千円)

| 属性      | 会社等の名称       | 議決権等の被所有割合 | 関連当事者との関係 |
|---------|--------------|------------|-----------|
| 親会社の子会社 | 住化ファイナンス株式会社 | —          | 資金の借入     |
| 取引の内容   | 取引金額         | 科目         | 期末残高      |
| 資金の借入   | 650,000      | 短期借入金      | 950,000   |

## 取引条件及び取引条件の決定方針等

1. 原材料等の購入又は製品の販売については、市場価格等を勘案し、都度価格交渉のうえ、一般的取引条件と同様に決定しております。

2. 資金の貸付及び借入の利率については、市場金利を勘案し、一般的取引条件と同様に決定しております。

(注1) 上記の金額のうち、取引金額には消費税等を含めておりません。買掛金又は売掛金期末残高には消費税等を含めております。

(注2) 資金の貸付及び資金の借入の取引金額は、前期末残高からの増減額を記載しております。

## (1 株当たり情報に関する注記)

1 株当たり純資産額 517円32銭

1 株当たり当期純利益 11円32銭

## 会計監査人の監査報告書 謄本

### 独立監査人の監査報告書

広栄化学工業株式会社  
取締役会御中

平成23年5月6日

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 文倉辰永印  
業務執行社員  
指定有限責任社員 公認会計士 小野友之印  
業務執行社員

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、広栄化学工業株式会社の平成22年4月1日から平成23年3月31日までの第150期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書について監査を行った。この計算書類及びその附属明細書の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から計算書類及びその附属明細書に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に計算書類及びその附属明細書に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類及びその附属明細書の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の計算書類及びその附属明細書が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類及びその附属明細書に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

## 監査役会の監査報告書 謄本

### 監 査 報 告 書

当監査役会は、平成22年4月1日から平成23年3月31日までの第150期事業年度の取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の結果、監査役全員の一致した意見として本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

#### 1. 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

監査役会は、監査計画によって当期の監査方針、職務の分担等を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。

各監査役は、監査役会が定めた監査計画に従い、監査役監査基準に準拠して、取締役、内部監査室その他の使用人、親会社の監査役等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。また、取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について、取締役及び使用人等からその構築及び運用状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。

なお、財務報告に係る内部統制については、取締役等及び有限責任あづさ監査法人から当該内部統制の評価及び監査の状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。

子会社については、子会社の取締役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。以上の方に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（平成17年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。以上の方に基づき、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書並びに連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表）について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 取締役の職務の執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- 三 内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムの整備、運用に関しては、財務報告に係る内部統制を含め継続的な改善が図られているものと認めます。

### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人有限責任 あづさ監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

### (3) 連結計算書類の監査結果

会計監査人有限責任 あづさ監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

平成23年5月10日

## 広栄化学工業株式会社 監査役会

常勤監査役 小寺章一印  
監査役 深江秀雄印  
社外監査役 渡辺秀昭印  
社外監査役 高田文生印  
社外監査役 田中誠一印

以上

## 株主総会参考書類

### 議案および参考事項

#### 第1号議案 取締役6名選任の件

取締役全員(6名)は、本総会終結の時をもって任期満了となりますので、取締役6名の選任をお願いするものであります。

取締役候補者は次のとおりであります。

| 候補者番号 | 氏名<br>(生年月日)                      | 略歴、地位、担当および重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                                             | 所有する当社株式の数  |
|-------|-----------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|
| 1     | かんだ なおや<br>神田直哉<br>(昭和19年12月7日生)  | 昭和42年4月 住友化学工業(株)(現住友化学(株))入社<br>平成9年6月 同社取締役、愛媛工場長<br>同 12年6月 同社取締役、支配人<br>同 13年6月 同社常務取締役<br>同 15年6月 同社常務取締役辞任、常務執行役員<br>同 16年6月 同社専務執行役員<br>同 17年6月 同社取締役 専務執行役員<br>同 20年6月 同社取締役 副社長執行役員<br>同 23年4月 同社取締役、当社顧問<br><br>現在に至る | 20,000<br>株 |
| 2     | すみだ としお<br>隅田敏雄<br>(昭和22年9月6日生)   | 昭和45年4月 住友化学工業(株)(現住友化学(株))入社<br>平成15年6月 同社理事<br>同 16年6月 当社入社 社長付<br>同 16年6月 取締役、支配人<br>同 18年6月 常務取締役 研究開発本部長<br>同 19年4月 常務取締役 研究開発本部長、研究開発本部開発室長<br>同 22年6月 取締役 専務執行役員、研究開発本部長、研究開発本部開発室長<br><br>現在に至る                         | 20,000<br>株 |
| 3     | かどた あつろう<br>門田厚老<br>(昭和23年6月23日生) | 昭和46年4月 当社入社<br>平成16年10月 品質保証室長<br>同 17年5月 技師長<br>同 18年4月 工場長付<br>同 18年6月 理事、工場長<br>同 19年6月 取締役、工場長<br>同 22年6月 取締役 常務執行役員、工場長、生産技術センター統括<br><br>現在に至る                                                                           | 17,000<br>株 |

| 候補者番号 | 氏名<br>(生年月日)                       | 略歴、地位、担当および重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 所持する当社株式の数  |
|-------|------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|
| 4     | まつむら としき<br>松村俊樹<br>(昭和28年3月5日生)   | <p>昭和50年4月 住友化学工業(株)(現住友化学(株))入社<br/>         平成15年6月 同社技術・経営企画室部長(経営計画)<br/>         同 17年6月 同社ラービング計画準備室部長<br/>         同 17年8月 同社ラービング計画推進室部長<br/>         同 17年12月 同社執行役員 ラービングリファイン<br/>                           グ アンド ペトロケミカル カンパ<br/>                           ニー出向<br/>         同 21年6月 当社取締役、企画室長<br/>         同 22年6月 取締役 執行役員、支配人、営業部<br/>                           担当</p> <p style="text-align: right;">現在に至る</p>                                                                                                                                                                            | 6,000<br>株  |
| 5     | やすかわ つよし<br>安川毅<br>(昭和27年5月3日生)    | <p>昭和51年4月 住友化学工業(株)(現住友化学(株))入社<br/>         平成13年5月 同社経理室部長(財務)<br/>         同 14年11月 同社経理室部長(経理)<br/>         同 17年6月 住友化学U.K.plc 社長<br/>         同 20年6月 当社取締役、支配人、経理室・内部<br/>                           監査室担当<br/>         同 21年6月 取締役、支配人、経理室・情報シス<br/>                           テム室・内部監査室担当<br/>         同 22年6月 取締役 執行役員、企画室長、物流<br/>                           購買室・経理室・情報システム室・<br/>                           内部監査室担当<br/>         同 23年6月 取締役 執行役員、支配人、物流購<br/>                           買室・企画室・経理室・情報システム室・<br/>                           内部監査室担当</p> <p style="text-align: right;">現在に至る</p> | 11,000<br>株 |
| 6     | やまもと かずむね<br>山本一心<br>(昭和26年3月15日生) | <p>昭和50年4月 住友化学工業(株)(現住友化学(株))入社<br/>         平成13年8月 同社三沢工場製造部長<br/>         同 15年10月 同社大分工場生産企画部長<br/>         同 17年4月 同社三沢工場長<br/>         同 19年6月 同社理事、大阪工場長<br/>         同 21年4月 同社執行役員(現職)<br/>         同 22年6月 当社取締役</p> <p style="text-align: right;">現在に至る</p> <p>(重要な兼職の状況)<br/>         住友化学株式会社 執行役員<br/>         田岡化学工業株式会社 社外取締役</p>                                                                                                                                                                                                                                                           | 0<br>株      |

- (注) 1. 各候補者と当社との間には特別の利害関係はありません。  
 2. 候補者のうち、山本一心氏は社外取締役候補者であります。  
 3. 山本一心氏は、昭和50年以来、当社の特定関係事業者（親会社）の業務執行者であります。  
 4. 山本一心氏を社外取締役候補者とした理由  
 山本一心氏は長年、住友化学(株)での製造・生産企画の管理実務に従事し、当該業務に精通し、さらに同社執行役員として同社の経営に参画されております。当社におきましても、この知見に基づいて当社経営戦略等への提言等をいただくことで、当社業務の発展に貢献するところが大きいと判断し、引き続き社外取締役候補者とした次第であります。  
 5. 山本一心氏の社外取締役としての在任期間は本総会終結の時をもって1年となります。

## 第2号議案 監査役2名選任の件

監査役小寺章一氏は、本総会終結の時をもって任期満了となり、監査役渡辺秀昭氏は、本総会終結の時をもって辞任いたしますので、新たに監査役2名の選任をお願いするものであります。

本議案につきましては、監査役会の同意を得ております。

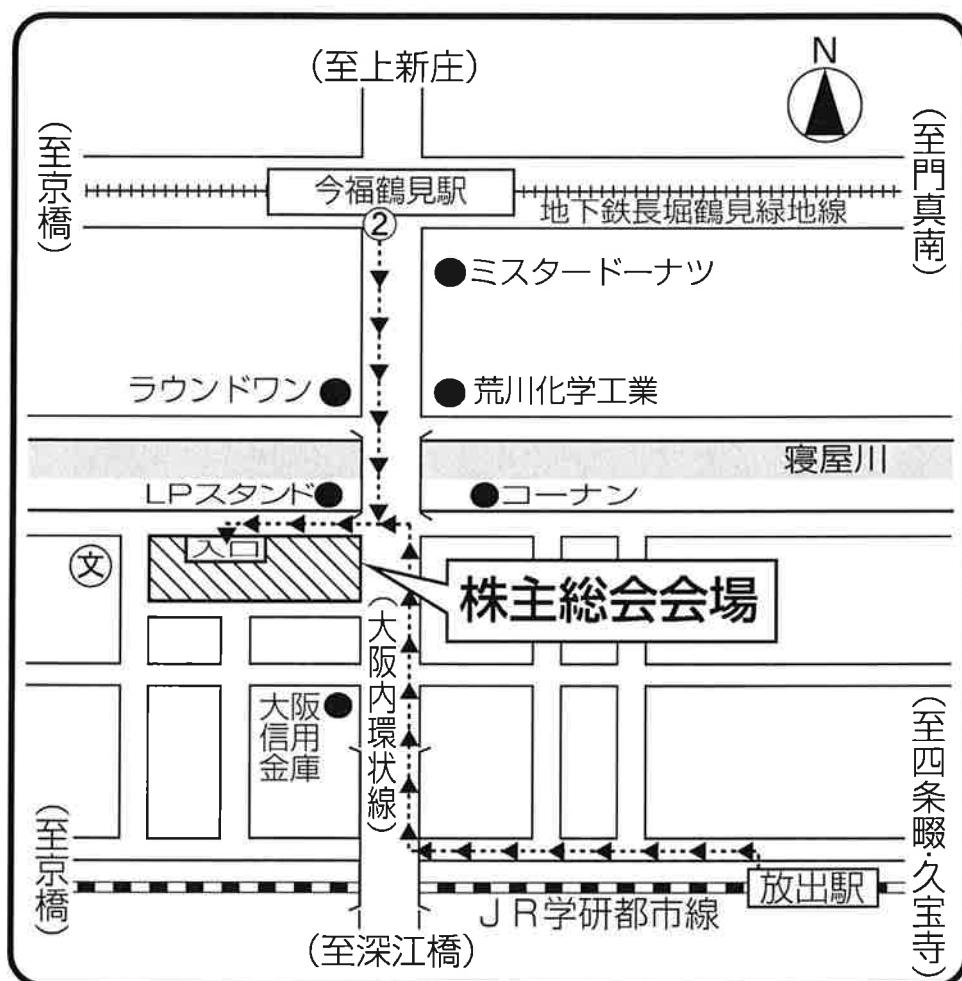
監査役候補者は次のとおりであります。

| 候補者番号 | 氏名<br>(生年月日)           | 略歴、地位および重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                                                      | 所持する当社株式の数  |
|-------|------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|
| 1     | 小寺章一<br>(昭和24年9月15日生)  | 昭和47年4月 当社入社<br>平成14年6月 経理室長<br>同 16年6月 広和商事株式会社取締役社長<br>同 16年10月 広栄テクノ株式会社取締役社長<br>同 18年6月 理事、支配人<br>同 20年6月 常勤監査役<br><br>現在に至る                                                                                                      | 35,000<br>株 |
| 2     | 榎波孝嗣<br>(昭和21年11月13日生) | 昭和44年7月 住友化学工業(株)(現住友化学(株))入社<br>平成14年6月 同社取締役、生活環境事業部長<br>同 14年11月 同社取締役、支配人<br>同 15年6月 同社取締役辞任、執行役員<br>同 17年6月 同社常務執行役員<br>同 20年6月 同社取締役 常務執行役員<br>同 21年4月 同社取締役 専務執行役員<br>同 23年4月 同社取締役<br><br>現在に至る<br>(重要な兼職の状況)<br>住友化学株式会社 取締役 | 0<br>株      |

- (注) 1. 両候補者と当社との間には特別の利害関係はありません。  
 2. 榎波孝嗣氏は社外監査役候補者であります。  
 3. 榎波孝嗣氏は昭和44年以来、当社の特定関係事業者（親会社）の業務執行者であります。  
 4. 榎波孝嗣氏を社外監査役候補者とした理由  
 榎波孝嗣氏は、長年、住友化学（株）での事業部門の管理実務に従事し、当該業務に精通し、さらに同社取締役、取締役常務執行役員、取締役専務執行役員等を歴任し当該会社の経営に参画されております。当社におきましても、社外監査役として選任された際には、同氏の豊富な実務経験をいかした当社に対する監査業務の実施等を通じて、当社業務の発展に貢献するところが大きいと判断し、今般社外監査役候補者とした次第であります。  
 5. 本議案が原案どおり承認された場合には、当社は榎波孝嗣氏との間で、会社法第427条第1項および当社定款第26条に基づく責任限定契約を締結する予定であり、当該契約に基づく賠償責任限度額は、同法第425条第1項に定める最低責任限度額であります。

# 株主総会会場ご案内図

大阪市城東区放出西二丁目 12 番 13 号  
本店事務棟 5 階会議室



- 会場には駐車場の用意がございませんのでご了承ください。
- 最寄り駅
  - 地下鉄長堀鶴見緑地線 今福鶴見駅下車（②番出口）徒步 12 分
  - JR線（学研都市線・おおさか東線）放出駅下車（北側出口）徒步 17 分